

令和3年度 第2回地震・火山噴火予知研究協議会 議事録(案)

日時 令和3年11月25日(木) 10:00~11:50

場所 web会議システムによるリモート会議

出席者:

(委員)

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター(議長)	教授	谷岡勇市郎
京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター長(副議長)		
	教授	大倉敬宏
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター	(代理) 教授	青山 裕
弘前大学大学院理工学研究科附属地震火山観測所長	教授	片岡俊一
東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター長	教授	三浦 哲
東京大学地震研究所長	教授	佐竹健治
東京大学地震研究所附属地震予知研究センター長	教授	上嶋 誠
東京大学地震研究所附属火山噴火予知研究センター長	准教授	金子隆之
東京大学地震研究所附属観測開発基盤センター長	教授	小原一成
東京大学地震研究所附属地震火山情報センター長	准教授	鶴岡 弘
東京大学地震研究所附属地震火山噴火予知研究推進センター長	教授	加藤尚之
東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設長	教授	平田岳史
東京工業大学理学院火山流体研究センター長	教授	小川康雄
名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター長	教授	渡辺俊樹
京都大学防災研究所附属地震予知研究センター長	教授	澁谷拓郎
京都大学防災研究所附属火山活動研究センター長	教授	井口正人
高知大学工学部附属高知地震観測所長	准教授	大久保慎人
九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター	(代理) 准教授	相澤広記
鹿児島大学地震火山地域防災センター附属南西島弧地震火山観測所長	教授	中尾 茂
秋田大学大学院国際資源学研究科	助教	坂中伸也
東北大学災害科学国際研究所(予算委員長)	教授	木戸元之
新潟大学災害・復興科学研究所	准教授	片桐昭彦
東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	教授	井出 哲
東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター	准教授	関谷直也
東京大学史料編纂所(東京大学地震火山史料連携研究機構)	教授	榎原雅治
東京大学大気海洋研究所	准教授	朴 進午
千葉大学大学院理学研究院	教授	服部克巳
鳥取大学大学院工学部	教授	香川敬生
立命館大学総合科学技術研究機構	教授	小笠原宏
国立文化財機構奈良文化財研究所	主任研究員	村田泰輔
京都大学防災研究所	教授	松島信一

富山大学学術研究部都市デザイン学系長	教授	渡邊 了
神戸大学海洋底探査センター	(代理) 教授	金子克哉
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科	教授	森永速男
情報通信研究機構電磁波研究所	(代理) 研究マネージャー	児島正一郎
海洋研究開発機構海域地震火山部門	専門部長	石原 靖
産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	研究グループ長	田中明子
国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター	地殻変動研究室長	宗包浩志
気象庁地震火山部管理課	地震情報企画官	宮岡一樹
海上保安庁海洋情報部技術・国際課	地震調査官	石川直史
山梨県富士山科学研究所富士山火山防災研究センター長	主幹研究員	吉本充宏
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部長	教授	吉田真吾
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部副部長	教授	大湊隆雄
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部副部長	准教授	大園真子
東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻(戦略室長)	教授	西村太志
防災科学技術研究所火山研究推進センター	センター長	中田節也
産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	研究グループ長	宍倉正展
大正大学地域構想研究所	特命教授	加藤照之

(オブザーバー)

気象庁地震火山部火山課	火山対策官	菅野智之
防災科学技術研究所火山防災部門	部門長	藤田英輔
文部科学省研究開発局学術調査官	東北大学大学院理学研究科准教授	矢部康男
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	課長	鎌田俊彦
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	地震火山専門官	井上和久
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	係長	野村宇宙
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	地震調査官	中村 航
東京大学地震研究所	事務長	村岡 俊
東京大学地震研究所	副事務長	渡辺正昭
東京大学地震研究所財務チーム経理担当	上席係長	狩野真二
東京大学地震研究所研究支援チーム共同利用担当	上席係長	根岸恒夫
東京大学地震研究所研究支援チーム	学術専門職員	東野陽子
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部	学術専門職員	荒井道子

欠席者：

(委員)

防災科学技術研究所地震津波防災研究部門	総括主任研究員	高橋成実
北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部エネルギー・環境・地質研究所	地域地質部長	内田康人

【報告事項】

1. 文部科学省からの報告

井上地震火山専門官より、地震火山調査研究に関連する令和4年度文部科学省概算要求、令和4年度地震調査研究関係予算の概算要求の概要、科学技術・学術審議会測地学分科会の審議状況、及び次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトの実施状況についての報告があった。概算要求された「総合知による災害対応DX推進事業」について、内閣府との連携について委員より質問があり、文部科学省鎌田地震・防災研究課長より内閣府とも連携することや今後長期的な視点で本事業を進める予定であるとの説明があった。

2. 令和3年度年次報告のとりまとめ方法と成果報告シンポジウム

大園企画部副部長より、令和3年度成果報告書（成果の概要、機関別報告）の作成について、成果管理システムの入力項目が若干細分化されること、今年度中間評価の際に入力したものを加筆修正いただくこと、サーバが移行されることが報告された。また、令和3年度成果報告シンポジウムについては、新型コロナウイルス感染症への対応のため、昨年同様3月1日-3日にオンライン開催予定との報告があった。

3. 東大地震研と京大防災研の拠点間連携共同研究について

松島拠点間連携共同研究委員長より、東大地震研と京大防災研の拠点間連携共同研究について、一般課題型研究と重点推進研究の2つの研究それぞれの申請及び審査結果について説明があった。また、令和4年度の公募についても募集を開始し、締切が令和4年1月7日となっているので、周囲への周知するよう依頼があった。

4. 令和4年度東京大学地震研究所概算要求について

佐竹地震研究所長より、今期中期計画の最終評価がA評価であったこと、令和4年度東京大学地震研究所が次年度から共同利用・共同拠点として認定されたこと、来年度予算については現段階では未定であることが報告された。

5. 令和4年度公募研究・特定共同利用(A-01)について

大湊企画部副部長より、令和4年度公募研究・特定共同利用(A-01)の申請状況について、公募研究は13件、特定共同利用(A-01)は2課題3件の申請があったこと、また今後の審査スケジュールについて報告があった。

6. 戦略室の活動報告

西村戦略室長より、中間評価の結果、令和2年度年次報告（成果報告書）の完成、レビュー報告書の作成状況、次期建議の検討の開始について報告があった。企画部、戦略室の作業については同時並行で忙しくなることがあったため、今後やり方など見直しが必要かもしれないとの指摘があった。

7. 外部評価に向けた提出資料作成のための情報提供のお願い

吉田企画部長より、来年度の外部評価に向けた資料作成のために、今後情報提供を依頼する予定であることの説明とその協力要請があった。

8. 国際火山WSの後援依頼について

吉田企画部長より、国際火山WSの後援依頼が協議会議長宛にあったことと、了解したことについて報告があった。

【審議事項】

1. 令和3年度第1回地震・火山噴火予知研究協議会議事録（案）の確認

令和3年度第1回地震・火山噴火予知研究協議会議事録（案）が承認された。なお、議論の記録が不足していた部分、記載ミスなどの指摘があったため、会議後に該当箇所の修正を行うこととした。

2. 令和4年度地震研究所客員教員の推薦

吉田企画部長より、令和4年度地震研究所客員教員の推薦について候補者の提案があり、承認された。

3. 災害の軽減に貢献するための観測研究経費による研究員の雇用について

吉田企画部長より、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」経費による令和4年度の特任研究員雇用の申請の受け付けを開始することが提案され、承認された。今年度から、電子ファイルによるオンライン申請のみ受け付ける。また、委員から前回の協議会で意見のあった仕組みの見直しについて、その後の対応について質問があった。吉田企画部長より、現段階では複数の理由から見直しが難しい状況であるが、今後も検討を続けるとの回答があった。

4. 企画部戦略室構成員選考委員会の設置について

吉田企画部長より、来年度の企画部戦略室構成員を選考する選考委員会の設置が提案された。協議会委員選出の2名に対する選挙が実施され、橋本武志委員、三浦哲委員が選出された。両委員と、議長が指名した大倉敬宏委員、加藤尚之委員、の計4名が選考委員会を構成することとなった。また、議長より、大倉敬宏委員が選考委員長に指名された。

【その他】

1. 実績報告書の作成について

地震研究所の根岸係長より、実績報告書の作成について説明があった。

2. その他

・ 今後の協議会開催方法について

意見収集を行った。議長の説明（オンライン開催のメリット、現地開催のメリット等）後、委員よりオンライン開催のメリットについて追加の意見があった。今のところ今回は現地開催を予定するが、今後も意見を募集し、開催方法について検討を続ける。

・ 福岡ノ場の軽石の漂着物について

災害となっていると思うが本コミュニティで対応するか、意見交換や合意、取り組みがあるか、質問があった。火山関係の委員より、調査研究が行われており、取り組んでいるとの報告があった。今後も検討できることがあればすると議長からコメントがあった。